

教科	地理歴史	科目	地理 B	単位数	3
学年	3 年	類型	商業科		
教科書 (出版社)	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)				
副教材 (出版社)	パワーアップ整理と演習 (帝国書院) 最新地理図表GEO (第一学習社) 地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門) 地理統計要覧 (二宮書店)				
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を展開する。ワークブックでの作業を通じて地理的技能を磨く。また、統計要覧などを活用し、世界の諸地域の特徴を考察するとともに、図表を活用し視覚的にイメージでとらえる習慣を身に付ける。				
授業の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容 (単元・項目)		学習目標		
	1 学期	2 資源と産業 (5) 世界の工業 (6) 第3次産業 (7) 世界を結ぶ交通・通信 (8) 現代世界の貿易と経済圏 3 人口、村落・都市 (1) 世界の人口 (2) 人口問題 (3) 村落と都市 (4) 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界の工業、流通、消費などに関する諸事象について、それらの分布や動向などについて考察するとともに、世界の中での日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。 交通や通信の発達による一体化と地域性を考察する。 世界人口の分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。 		
	2 学期	4 生活文化、民族・宗教 (1) 世界の衣食住 (2) 民族と宗教 (3) 現代世界の国家 第3部 現代世界の地誌的考察 1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 (1) アジア (2) アフリカ (3) ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住について、分布や地域的差異を考察するとともに、民族と宗教について、生活との関わりを考察する。 地誌を考察する方法として、世界の諸地域を多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的な又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。 		
	3 学期	(4) ロシア (5) アメリカ (6) オセアニア			
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究しようとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を正確に読み取っている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解している。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				